

資料3

テーマ2 小中一貫教育について 【論点Ⅲ】

テーマ2 小中一貫教育について（論点Ⅲ）

論点Ⅲ

こどもの視点から、小中一貫教育や施設一体型小中一貫校はどのように評価できるか
また、学校再編時に施設一体型小中一貫校の設置をあわせて検討することはどうか



第1回懇話会における主な意見（要旨抜粋）【論点Ⅲ関係】

- ① 小中一貫校は堺市に2校あるが、状況によって小中一貫校の導入も有用。
- ② 全国的に小中一貫教育が展開され、小規模校が小中一貫校や義務教育学校になった。
他市の小中一貫校の取組において、マイナス面や不満等の問題なく運用されている。
- ③ 小中一貫校の生徒数が増えすぎるといった問題が発生したときは、施設分離をすればよく、例えば学年を分けるとかで問題は解消される。

テーマ2 小中一貫教育について（論点Ⅲ）

- ④ 学校によるが、小中一貫校の小学校と中学校教員間の連携が難しいケースがある。
職員室を分けると、義務教育学校にもかかわらず職員が一貫していないことになる場合もある。
- ⑤ 安全面として、学校が近いといえども大きい幹線道路を通るとなると、そこは考えていかないといけない課題である。
- ⑥ こどもや地域の環境や状況に合わせて、学校ごとの特色を考えていかなければならない。
一方、あまりにも教育条件や規模が（自治体内で）違いすぎると、そこで行われる教育の効果的なものにあまりにも差ができ、公平性の観点から外れてしまうため、そのバランスをいかに考えるか。
こどもたちの状況、物理的な面、教育環境等を統合して考える必要がある。
- ⑦ これからオンライン教育が進むが、個に閉じこもっていく可能性がある。
オンライン教育は大事だが、一方で、ひろがる・つながることは大事なことであり、そのような発想で問題を考えなければいけない。